

# 整形外科研修の到達目標

これらの目標は、救急外来で頻度が比較的高い整形疾患に対応するため求められる基本的なものであり、基礎を築くための重要なステップです。

## 1. 基本的診断能力の習得

- 患者の病歴聴取、身体診察、画像検査の解釈を通じて、正確な診断が行えるようになる。
- X線、MRI、CTなどの画像検査を適切に選択し、結果を解釈できる。

## 2. 基本的手技の習得

- 関節穿刺、ギプス固定、注射法などの基本的な整形外科手技を習得する。
- 外傷に対する応急処置や、関節内注射などの手技を実施できる。
- 清潔操作を理解し、基本的な創処置および手術の助手ができる。

## 3. 救急対応能力の向上

- 多発外傷や開放骨折などの緊急症例に対し迅速かつ適切に対応できる。
- 神経・血管・筋腱損傷を評価し適切に対応できる。
- 軟部・骨・関節感染症を評価し適切に対応できる。

## 4. 慢性疾患・変形疾患の理解と管理

- 変形性関節症、関節リウマチ、骨粗鬆症などの慢性疾患の病態を理解し、適切な治療方針を立てられる。
- 腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症などの脊椎疾患の病態を理解し、適切な治療方針を立てられる。
- 理学療法やリハビリテーションの重要性を理解し、患者に適切に指導できる。

## 5. コミュニケーション能力の向上

- 患者・家族との信頼関係を築き、治療方針や手術内容について適切に説明できる。
- 医療チームの一員として、他職種と協力して患者の治療にあたる。

## 6. 学会活動と研究への参加

- 症例発表や抄読会などを通じて、学会活動に積極的に参加する。